

製材工場等へ直送するシステム販売

1 当システム販売の目的

低コスト・高効率作業システムと一体となった販売・流通システムを確立していくため、山土場での選別・巻立を簡略化し、原木流通の効率化を図ることを目的に、自動選別機等による計測が可能な製材工場等へ山土場に集材された原木を直送するシステム販売であり、自動選別機で計測したデータを活用することにより、生産・加工・流通の合理化・低コスト化に資することを目的としている。

2 当システム販売の概要

(1) 巻立、検知

山土場において、針葉樹は樹種別に統合材等と原料材の二種類に分けて選別・極積みを行い、原料材は山土場での層積検知を行う。原料材以外は山土場での検知を行わず、自動選別機のある場所へ直送し自動選別機による検知。

広葉樹は、これまで同様に、山土場で一般材、低質材及び原料材に区分して極積みを行い山土場で検知。

(2) 運搬

山土場から自動選別機のある場所への運搬は、システム販売協定締結者が行い、運搬に係る経費はシステム販売協定締結者の負担。



トラック積載状況（土場からの搬出時）

山土場の状況

(3) 売払方法

山土場において全量を検知しないことから、概算売り払いで実施。

3 自動選別機による数量調査

北森協同組合で設置している自動選別機により、統合材等の長級及び径級を自動計測し、その数値に基づき数量を算出。

4 契約概要

(1) システム販売

協定者 北森協同組合

協定量 3,500 m³

(トマツ・エゾマツ統合材, カラマツ一般材, N・L原料材他)

(2) 数量調査

請負者 北森協同組合

契約数量 1,360 m³ (トマツ・エゾマツ統合材, カラマツ一般材)